



平成 27 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 EIZO 株式会社
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード:6737、東証第一部)
問合せ先 経理部長 兼 IR 室長 有生 學
(TEL. 076-275-4121)

第五次中期経営計画策定に関するお知らせ

Visual Technology Company に向けて

当社は、2015 年度を初年度とする第五次中期経営計画(3 ヵ年)を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画基本方針

当社は世界トップレベルの高品質・高信頼性のコンピュータ用モニターやパチンコ遊技機用のモニターを開発から生産・販売まで一貫して行っている映像のスペシャリストであります。今後は当社の強みである映像技術をベースに「**Visual Technology Company**」へと展開してまいります。

第五次中期計画はこのための準備期間と位置づけ、特に初年度である 2015 年度は、開発投資、販売力強化投資、増産用工場棟建設などの先行的な投資を実施いたします。

(数値目標)

Visual Technology Company に向けて、まずは、“**10/15/150**”を達成する。

- 10** : 連結営業利益率 **10%**を達成する。
- 15** : モニター事業を拡大させることで、アミューズメント用モニターの連結売上高比率を **15%**以下にする。
- 150** : メディカル、グラフィックス及び産業の特定市場向けで、連結売上高を 2014 年度と比較して **150 億円**伸ばす。(44%増)

なお、最終年度となる 2017 年度の連結売上高目標は 830 億円であります。

2. 重点施策

- ① メディカル市場向けでは、さらに事業領域を拡大・成長させるために、地域別では重点市場である日本、欧州で事業の拡大を図るとともに、戦略市場として米国、中国、インド、中東に注力します。用途市場別では、2014 年度に参入した手術室向けソリューションを本格的に展開します。
- ② グラフィックス市場向けでは、静止画分野で No.1 を維持するとともに、映像制作分野でシェア No.1 を目指します。
- ③ 産業市場向けにおいて、航空管制(ATC)、船舶、鉄道、監視(Security & Surveillance)、及び FA(Factory Automation) 市場を重点市場と位置付け、ビジネスを開拓・成長させます。
- ④ アミューズメント市場向けでは、パチンコ遊技機の市場縮小に対し、開発効率を向上させる構造改革を行うとともに、当分野でのトップメーカーとしての地位を維持します。
- ⑤ 業務プロセス改革を通じたリーン化により固定費の削減及び効率化を推進します。

3. 株主還元方針

当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。

今後も、事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら、配当や自己株式取得等の利益還元を実施してまいります。

株主の皆様への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の 40%～50%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤の強化に努力してまいります。

(注)本計画に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

なお、詳細については後日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

<http://www.eizo.co.jp/ir/plan/index.html>

以上